

令和2年度第1回経営協議会（書面審議） 議事要旨

日時 令和2年6月12日（金）～18日（木）（書面審議）
回答者 穴沢学長，江頭理事，鈴木理事，近藤副学長，片桐委員
上林委員，栗田委員，佐藤委員，杉江委員，福田委員，舟本委員（計11名）

議 題

1. 第3期中期目標期間4年目終了時評価に係る実績報告書について

第3期中期目標期間4年目終了時評価に係る実績報告書について，書面審議の結果，原案どおり承認された。（可とする者11名，否とする者0名）

なお，委員からは，以下の意見等があった。

○学長のリーダーシップが発揮できる戦略的な組織機構の改正，外部資金の増額，地域貢献事業への積極的な取組み，更には三大学統合に向けた積極的な議論の推進など前向きな姿勢が伺えたと感じている。

○P21の中期目標にある「小規模大学の強みを活かし」という認識において，3大学の経営統合はどのように位置付けられているのか。

○P23及びP30で言及されている「育児目的休暇」は男性と女性双方を対象にしたものなのか。取得者はすでにいるのか報告願いたい。

○CGSの4部門の名称が最初は「教育マネジメント」「国際交流」「産学官連携ネットワーク」「研究マネジメント」（P24）と書かれているが，「教学マネジメント」の代わりに「実践的な教育方法」（P30）と別な記載に，また「教育支援部門」「グローバル教育部門」「産学官連携推進部門」（P32）となっていたりする。開設以来呼称が変わってきたのかもしれないが，もし統一できるならば整合を図った方がよいのではないか。

2. 国立大学法人小樽商科大学学長選考会議委員の選出について

国立大学法人小樽商科大学学長選考会議委員の選出について，書面審議の結果，原案どおり承認された。（可とする者10名，一部可とする者1名，否とする者0名）

報 告 事 項

1. 役員に係る令和2年6月期期末特別手当について

役員に係る令和2年6月期期末特別手当について，書面による報告があった。

2. 2020年度入学者選抜結果について

2020年度入学者選抜結果について、報告資料2に基づき、書面による報告があった。なお、委員からは、以下の意見等があった。

- 一般前期及び後期ともに志願者が減少した要因を詳細に分析する必要がある。
- 「今年度は昼間コース夜間コース共に志願者数が大きく減少しました」と報告されている。その要因として「志望校ランクを下げたことが一因にある」と分析しているが、各種報道機関の調査結果にあるように、本学の魅力度が減退しているのではないだろうか。いかに本学の魅力度を上げていくかについて、経営協議会を含め学内外の論議・分析が必要と思われる。このままだと、地方の二流校から抜け出せられない。
- 全体として、健闘していると感じた。ただ、後期日程の合格倍率、定員充足率はともに厳しい状況にあると思われる。この傾向は続いているのか。そうであるならば、対策は検討されているのか。また、入試区分によって、入学後の学修実績（GPAなど）に差はあるのか報告願いたい。

3. 新型コロナウイルス対策緊急給付型奨学金について

新型コロナウイルス対策緊急給付型奨学金について、報告資料3に基づき、書面による報告があった。

なお、委員からは、以下の意見等があった。

- 大学として財源確保に努力し、学生の支援をすることは大変ありがたいと思う。出来れば、小樽市（官・民）として学生を支援する動きが見えないのが残念である。
- 給付型奨学金に対して、同窓会だけでなく、教職員組合も寄付されていることに感銘を受けた。この危機において、経済的困難に陥った学生を一人でも多くサポートするという姿勢が強く感じられた。

4. 最近のトピックスについて

最近のトピックスについて、報告資料4に基づき、書面による報告があった。

以上